

検証事項一覧表

No	タイトル	提案会派等	対象部局等	検証の内容	必須の検証項目	提供いただきたいデータ	検証終了日
1	市民への適切な情報提供について	よこすか未来会議	市長室	広報紙号外等の発行のタイミング、コールセンターの対応状況、ホームページの閲覧などを点検し、市民が求めている情報が適切に届いていたのか検証を行い、より効果的な情報提供方法につなげていく。	①広報紙《紙媒体の適時性を検証》 「広報よこすか号外（5月1日）」および、「広報6月号折り込みちらし」の掲載内容、配布のタイミングは適切だったか、市民に適切に届いていたのか。 また、職員がポスティングしていたが、毎回できるわけでもないため、また同じ状況になったときにどのような情報提供がよいのか。 ②コールセンター《届いていない情報・今すぐ知りたい情報の検証》 ・着信件数・応答率・回答率の状況（通常時との比較） ・新型コロナウイルス関連の質問件数の状況と内容の分類 ③ホームページ《知りたい情報の検証》 ・新型コロナウイルス関連情報を掲載している各ページのページビュー数の状況 ・情報更新作業の振り返り ④ツイッター《知りたい情報の検証》 ・新型コロナウイルス関連情報の発信数・発信内容・リツイート数など ⑤動画《知りたい情報の検証》 ・視聴回数	—	7月20日 検証了承
2	交代制勤務実施に伴う各所属の対応及び在宅勤務に係る業務課題について	よこすか未来会議 公明党	総務部 (経営企画部)	①在宅勤務のあり方について コロナで職員が在宅勤務になったが、業務のあり方はどうだったのか。在宅でできる仕事に限界はなかったか。交代制勤務ではなく、「在宅勤務」について検証が必要ではないか。 在宅でできる仕事、できない仕事が各部署で整理できたのか。また、業務遂行状況等の所属長への連絡や報告の体系化等は十分だったか。 ②職員間のオンラインコミュニケーションについて 平時もそうだが、今回、在宅勤務と出勤者とのコミュニケーションはどのような形だったのか。こうした場合の職員間のコミュニケーションがどうだったのか検証する必要があるのではないか。 なお、①②は、WEB会議環境とも関係するため、経営企画部と連携して、検証が必要ではないか。（WEB環境次第で在宅勤務の幅も広がるため） ③在宅勤務時の勤務評価について 在宅勤務の際の勤務評価は適切に行えたのか、検証が必要。	—	—	9月8日 検証了承
3	医療機関におけるマスク・防護服等の提供状況	自由民主党	健康部	コロナウイルス感染患者を受け入れた病院において、医療従事者が適切にマスク・防護服等の医療物資が適切な数を確保できたのか？ 執行部と現場の声に開きがあった。現場職員に説明はあったようだが、医療職員からは不安の声が聞こえた。 また、本市に寄付されたマスク等を必要な施設に適切に配布できたのか？ 今後のストック数の見直しについてどのように考えているのか？	本件の対応において、どのような課題・問題点があったか。また、その課題・問題点の解消に向け取り組んだ対策はあったか。	医療施設において、マスク・防護服などのくらの日数の在庫を確保していたのか？	7月20日 検証了承
4	感染拡大予防物資の各施設への効果的な配分方法について	よこすか未来会議	市民部 (福祉部、健康部 こども育成部、こども家庭支援センター)	民間企業からの寄贈や国・県からの配布により市に届けられたマスク等感染拡大予防物資の配分方法について点検を行い、より効果的、効率的な配分方法のあり方を模索する。 併せて、市に届けられた物資を各施設、事業所に引き渡す方法（来庁手渡し、郵送、配達等）について、それぞれのメリット・デメリットを踏まえ、状況（物資の種類・数量、対象施設、緊急性等）に応じた最も効果的な方法を検討する。	①物資の効果的な配分方法（配分先、配分量）の考え方 ②物資の効率的な引き渡し方法	—	8月19日 検証了承

No	タイトル	提案会派等	対象部局等	検証の内容	必須の検証項目	提供いただきたいデータ	検証終了日
5	医療関係の対応状況	自由民主党 公明党 日本共産党	健康部	①感染症患者を受け入れた病院の対応能力 ・人員 ・機材 ・資材 等 病院として受け入れられる患者数？ ②保健所、健康センターなどの対応力 ・人員 ・機材 ・資材 等 問題になった点は？ 医師会、病院、PCRセンター、市役所、コールセンター等との連携の内容や頻度、不十分性等 ③PCR検査外来の対応力 ・人員 ・機材 ・資材 ・患者対応 等 問題になった点は？ ④市内病院、診療所などの対応 患者対応等で問題になった点は？	本件の対応において、どのような課題・問題点があったか。また、その課題・問題点の解消に向け取り組んだ対策はあったか。 ②保健所、健康センターなどの対応力 ・現場で足らなかったもの（こと）、苦勞した点 ・保健師の通常業務への影響の有無。 ・職員の心身の不調について ・ヒューマンエラー ・国や県からの指示の内容 ・国、県への要望 ③PCR検査外来の対応力 ・受入体制 ・業務の流れ ・委託事業の課題 ・公表の迅速性	②保健所、健康センターなどの対応力 ・時系列での保健所の体制、人数、シフトの推移、応援体制等 ・3月、4月、5月のそれぞれ1か月の労働時間、残業時間（最多上位3人の時間数） ・電話対応数（3月～5月の3か月分の毎日の全数）電話機の数は何台か ③PCR検査外来の対応力 全PCR検査数と陽性者数の推移	7月20日 検証了承
6	感染源特定の手法について	自由民主党	健康部	追跡調査に関する本市の手法について検証する（標準的手法や他市の状況を含め検証）	—	—	7月8日 協議の結果、検証事項から取り下げ
7	自宅療養について	自由民主党	健康部	家族への感染防止策、単身者においては食品や日用品の買い出し等、自宅療養者が生活するうえでの課題解消に向けた対策はあるか。	—	—	7月8日 協議の結果、検証事項から取り下げ
8	市立2病院と共済病院について	公明党	健康部	コロナ禍における3病院の経営状況をはじめとした運営上の問題点について検証	3病院の経営において、どのような課題・問題点があったか。	市で把握している病院経営に影響を与えた事項の関連データ	7月20日 検証了承
9	市内病院や薬局等の状況について	公明党	健康部	感染者受入外の市内病院や薬局等の経営状況をはじめとした運営上の問題点を検証	感染者受入外の市内病院や薬局等の経営において、どのような課題・問題点があったか。	市で把握している病院等経営に影響を与えた事項の関連データ	7月20日 検証了承
10	幼稚園・保育園・認定こども園等の運営上の課題	自由民主党	こども育成部	幼稚園・保育園・認定こども園等の登園自粛をはじめとした運営上の問題点を把握し、第2波、第3波、また同様の感染症が発生した際に、有効な対策を講じられるようにする。 ・公立保育園の役割等	幼稚園・保育園・認定こども園等の登園状況	—	9月8日 検証了承
11	児童虐待	自由民主党	こども家庭支援センター	外出自粛及び休校に伴い、児童虐待の増加が懸念されるが、実態把握にどのような手法をとっているのか。相談件数は平時に比べどのように推移しているか。	—	—	9月8日 検証了承
	コロナ禍における児童相談とDVの相談について	公明党	こども家庭支援センター	対面相談ができない中でのオンライン相談の検討も含めた児童相談とDV相談の検証。	—	—	9月8日 検証了承
12	休校期間、また分散登校実施中の学童クラブの課題の検証	よこすか未来会議 公明党 小林オプザバー	こども育成部	①時系列で学童クラブの課題を整理すること。（3密は防げていたか、職員は足りていたか、各学校における校庭や体育館等の開放状況 など） ②学童クラブへの連絡について、どのタイミングでどのようにしていたのか確認すること。（教育委員会とこども育成部の連絡体制についても検証すること） ③学校に入っている学童クラブとそうでない学童クラブで異なる対応がなされたことがあったのか確認すること。 ④利用自粛を要求したタイミングと、日割り返金の補助金等財政の補助があるという話を学童に伝えた時期の差について確認すること。（運営の不安を抱えながら開所していたのではないか） ⑤人員面の支援について、県教育委員会の見解を受けて、どう対応したのか。	—	—	9月8日 検証了承

No	タイトル	提案会派等	対象部局等	検証の内容	必須の検証項目	提供いただきたいデータ	検証終了日
13	定期接種のあり方について	公明党	こども育成部	個別対応ができない中での定期接種実施方法の検証	各種の定期接種ができなかった期間とその対象者数	—	8月11日 検証了承
	疾病予防の進捗	小林オプザーバー	こども育成部	コロナ禍を受け、乳幼児健診類や特定健診を先延ばしにした。予防接種は従来通り行われているが、規定の接種時期の中でできるだけ繰り延べている方も多いただろう。こうした疾病予防がどのような状況にあるのか。例年と比べて受診率ほどの程度落ち込んでいるのか。また、乳幼児健診の内容に変更はあったのか。	—	・予防接種の接種率の前年同月比など ・乳幼児健診の各診査項目ごとの影響を受けた対象者数と年代内の割合 ・その他	
14	中小企業等家賃支援補助金の効果及び運用面の課題等を検証	自由民主党	経済部	補助金の交付実績等をふまえて、国の制度との整合性、周知方法、受付体制などについて検証する。検証をもとに、新たな支援策の検討や、申請事務の効率化などにつなげる。	①交付件数、予算の執行状況等の実績 ②申請受付事務 ・郵送申請を原則としたこと ・添付書類の種類等 ・審査事務の効率化 ③事業者等への周知方法 ④補助対象を拡大したことについて ⑤交付実績等、関連データの活用について	—	9月8日 検証了承
15	休校期間中の各家庭への情報提供	自由民主党	教育委員会	休校期間中の保護者への情報提供の方法 まちこみ ホームページ等 まちこみは保護者のどれくらいが登録できたのか？ 登録できなかった家庭への対応 学校によりホームページの更新格差について今後どのように考えているのか？ プリント等も含め、保護者への情報伝達全般について検証	—	まちこみの登録状況 割合 学校ごとのホームページ更新回数と担当者の人数	10月8日 検証了承
16	連絡体制のあり方	よこすか未来会議	教育委員会	学校ごとに異なる対応があったという話も聞こえてきている。教育委員会と各学校の連絡のあり方（居場所のことなど）、教育委員会とこども育成部（学童クラブ）との連絡のあり方を検証すること。	—	—	11月6日 検証了承
17	休校中の児童の学習について	公明党	教育委員会	緊急事態宣言後の学習サポートの検証	—	—	11月6日 検証了承
18	学びの遅れについて	公明党	教育委員会	現状の学習の遅れについての検証 ・カリキュラムの遅れ ・冬休み、春休み等の短縮予定 等	—	—	7月20日 検証了承
19	各種申請にかかる様式や説明の簡素化	小林オプザーバー	総務部	広聴を通じ、国県市のコロナ対策の各種支援制度への申請に際し、記入の様式が煩雑であったり、説明がわかりにくかったりするという課題が浮かび上がってきた。については、業務行程再構築(BPR)の観点から、現在の申請のあり方を点検し、改善できるものについては改善したい。	・該当者には最初から支給決定通知を送るなど、申請をそもそも不要にできないのか？ ・性別など申請に本来は不要な情報まで書かせていないか？ ・個人を特定さえできれば市が持つ各種情報と引き当てして記入項目を削減できないのか？ ・申請は用紙がいいのか？ Webがいいのか？ 併用か？ ・本人が申請書を書くのではなく、LINEで質問に答える型の様式や、記入代行の仕組みを作れないのか？ ・どうしても本人が申請書を書くしかないならば、説明や書式をわかりやすくできないか？	—	11月6日 検証了承

No	タイトル	提案会派等	対象部局等	検証の内容	必須の検証項目	提供いただきたいデータ	検証終了日
20	保育園の登園者の決定方式	小林オプザーバー	こども育成部	<p>保育園は、保育料を払えば利用できるという対価型のサービスではなく、保育に欠ける児童への福祉的措置である。そのため、登園の是非について3つの選択肢が採りうる。</p> <p>(1)登園の自粛要請 (2)運営者による登園を控える要請 (3)市による登園の許可制導入</p> <p>(1)は本市が今回採った方式である。(3)は他市でも採られた方式である。(2)は事業者と保護者の間でトラブルになりかねない。</p> <p>今回は(1)の方式で大過なく済んだが、自粛の判断は保護者に委ねられる。休職で本来は預ける必要もないのに預けていた保護者もいたようだが、自粛するもしないも保護者次第であり、責めることはできない。しかし、今後の感染拡大の状況によっては必須欠くべからざる従事者の子息に絞って(3)の手法を採ることも必要となる。保育園の運営者の代表もまた(3)が望ましいと述べていた。保育士からも unnecessary 登園を可能な限り避けてほしいという声が挙がる。</p> <p>そのため、検証を求めたい。</p>	<p>・他市の採った方式および、それぞれの利点と課題について、若干の事例収集</p> <p>・本市が(3)を採った場合の利点と課題</p>	—	10月8日 検証了承